

令和2年6月26日

令和元年度  
(第79期)

財 務 諸 表

貸 借 対 照 表

損 益 計 算 書

株主資本等変動計算書

個 別 注 記 表

株式会社 東京ビッグサイト

# 貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額		科 目	金 額	
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
<b>I 流動資産</b>			<b>I 流動負債</b>		
1 現金及び預金		16,317,989	1 未払金		3,967,976
2 営業未収金		2,727,072	2 1年以内返済予定の長期借入金		691,979
3 預け金		2,100,000	3 リース債務		787
4 前払費用		490,966	4 未払費用		9,725
5 未収消費税等		186,659	5 未払法人税等		181,000
6 その他の流動資産		48,773	6 前受金		2,345,835
7 貸倒引当金	△	7,477	7 預り金		7,627
<b>流動資産合計</b>		<b>21,863,983</b>	8 賞与引当金		69,836
<b>II 固定資産</b>			9 その他の流動負債		1,270,926
<b>1 有形固定資産</b>			<b>流動負債合計</b>		<b>8,545,695</b>
(1) 建物	63,067,034		<b>II 固定負債</b>		
減価償却累計額	△ 25,705,319	37,361,715	1 長期借入金		1,383,959
(2) 構築物	1,546,607		2 リース債務		1,838
減価償却累計額	△ 937,663	608,944	3 繰延税金負債		2,897,087
(3) 車輜	2,341		4 退職給付引当金		308,684
減価償却累計額	△ 2,341	0	5 資産除去債務		1,246,301
(4) 工具、器具及び備品	2,472,937		6 預り保証金及び敷金		4,309,258
減価償却累計額	△ 2,245,970	226,967	<b>固定負債合計</b>		<b>10,147,129</b>
(5) 土地		19,169,527	<b>負債合計</b>		<b>18,692,825</b>
(6) リース資産	10,506		<b>(純資産の部)</b>		
減価償却累計額	△ 8,074	2,432	<b>株主資本</b>		
(7) 建設仮勘定		204,316	<b>I 資本金</b>		<b>5,571,000</b>
<b>有形固定資産合計</b>		<b>57,573,902</b>	<b>II 資本剰余金</b>		
<b>2 無形固定資産</b>			1 資本準備金		3,348,750
(1) ソフトウェア		266,124	<b>資本剰余金合計</b>		<b>3,348,750</b>
(2) 商標権		1,125	<b>III 利益剰余金</b>		
(3) 電話加入権		4,859	1 利益準備金		300,000
<b>無形固定資産合計</b>		<b>272,109</b>	2 その他利益剰余金		
<b>3 投資その他の資産</b>			(1) 固定資産圧縮積立金	13,739,463	
(1) 関係会社株式		200,177	(2) 別途積立金	40,000,002	
(2) 長期前払費用		3,393,915	(3) 繰越利益剰余金	2,093,396	55,832,862
(3) 差入保証金及び敷金		242,213	<b>利益剰余金合計</b>		<b>56,132,862</b>
(4) その他		6,577	<b>IV 自己株式</b>		△ 199,135
(5) 貸倒引当金	△	6,576	<b>株主資本合計</b>		<b>64,853,477</b>
<b>投資その他の資産合計</b>		<b>3,836,306</b>	<b>純資産合計</b>		<b>64,853,477</b>
<b>固定資産合計</b>		<b>61,682,319</b>	<b>負債及び純資産合計</b>		<b>83,546,303</b>
<b>資産合計</b>		<b>83,546,303</b>			

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 損 益 計 算 書

平成31年4月 1日から  
令和 2年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	金	額
I 営 業 収 益		
1 会場運営事業収入	11,999,961	
2 主催事業収入	707,424	
3 賃貸事業収入	7,825,928	
4 その他の事業収入	420,104	20,953,419
II 営 業 原 価		
1 会場運営事業原価	9,779,017	
2 主催事業原価	782,880	
3 賃貸事業原価	5,678,964	
4 その他の事業原価	392,906	16,633,769
<b>営業総利益</b>		<b>4,319,649</b>
III 販売費及び一般管理費		1,688,974
<b>営業利益</b>		<b>2,630,675</b>
IV 営 業 外 収 益		
1 受取利息	3,541	
2 有価証券利息	147	
3 受取配当金	69,437	
4 そ の 他	817	73,943
V 営 業 外 費 用		
1 支払利息	55,150	
2 そ の 他	19	55,169
<b>経常利益</b>		<b>2,649,449</b>
VI 特 別 損 失		
1 固定資産除却損		936
<b>税引前当期純利益</b>		<b>2,648,513</b>
VII 法 人 税 等		
法人税、住民税及び事業税	1,014,727	
法人税等調整額	△ 207,739	806,988
<b>当期純利益</b>		<b>1,841,524</b>

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書

平成31年4月 1日から  
令和 2年3月31日まで

(単位：千円)

	株 主 資 本		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金
		資本準備金	利益準備金
平成31年4月1日残高	5,571,000	3,348,750	300,000
事業年度中の変動額			
剰余金の配当			
当期純利益			
自己株式の取得			
別途積立金の積立			
固定資産圧縮積立金の取崩			
事業年度中の変動額合計	-	-	-
令和2年3月31日残高	5,571,000	3,348,750	300,000

	株 主 資 本			
	利益剰余金			利益剰余金合計
	その他利益剰余金			
	固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金	
平成31年4月1日残高	13,964,558	36,300,002	3,829,110	54,393,671
事業年度中の変動額				
剰余金の配当			△ 102,333	△ 102,333
当期純利益			1,841,524	1,841,524
自己株式の取得				-
別途積立金の積立		3,700,000	△ 3,700,000	-
固定資産圧縮積立金の取崩	△ 225,094		225,094	-
事業年度中の変動額合計	△ 225,094	3,700,000	△ 1,735,714	1,739,191
令和2年3月31日残高	13,739,463	40,000,002	2,093,396	56,132,862

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
平成31年4月1日残高	△ 153,335	63,160,086	63,160,086
事業年度中の変動額			
剰余金の配当		△ 102,333	△ 102,333
当期純利益		1,841,524	1,841,524
自己株式の取得	△ 45,800	△ 45,800	△ 45,800
別途積立金の積立		-	-
固定資産圧縮積立金の取崩		-	-
事業年度中の変動額合計	△ 45,800	1,693,391	1,693,391
令和2年3月31日残高	△ 199,135	64,853,477	64,853,477

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 個 別 注 記 表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

### 1.資産の評価基準及び評価方法

有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式

移動平均法による原価法

### 2.固定資産の減価償却の方法

#### (1)有形固定資産の減価償却の方法(リース資産を除く)

車輛については定率法を、建物その他については定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物及び構築物 3～50年

車輛運搬具及び工具器具備品 2～20年

#### (2)無形固定資産の減価償却の方法(リース資産を除く)

定額法によっております。

なお、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間(5年)に基づいております。

#### (3)リース資産の減価償却の方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

#### (4)長期前払費用の償却の方法

均等償却しております。

なお、東京都の土地造成事業に係る費用負担金については、駐車場利用として便益を受ける期間(22年)に基づいております。

### 3.引当金の計上方法

#### (1)貸倒引当金の計上方法

売上債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

#### (2)賞与引当金の計上方法

従業員に対する賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当期の負担額を計上しております。

#### (3)退職給付引当金の計上方法

従業員の退職給付の支払に備えるため、期末自己都合要支給額(簡便法による退職給付債務)から年金資産の額を控除した額を計上しております。

### 4.消費税及び地方消費税の会計処理の方法

税抜方式を採用しております。

(貸借対照表に関する注記)

1.関係会社に対する金銭債権及び金銭債務		
	短期金銭債権	2,126,877 千円
	短期金銭債務	75,816 千円
2.担保に供している資産	建物	18,457,631 千円
上記に対応する債務	1年以内返済予定 の長期借入金	691,979 千円
	長期借入金	1,383,959 千円
	計	2,075,939 千円

3.その他の注記

長期前払費用には東京都の土地造成事業に係る費用負担金 3,358,585 千円が含まれております。なお、当該造成地は、当社が駐車場、イベント開催等で利用するため借用するものであります。

(損益計算書に関する注記)

関係会社との取引	営業収益	119,203 千円
	営業費用	1,019,455 千円
	その他	86,013 千円

(株主資本等変動計算書に関する注記)

- 当事業年度の末日における発行済株式の総数  
普通株式 2,619,705 株
- 当事業年度の末日における自己株式の数  
普通株式 79,690 株
- 当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
令和元年6月25日 (定時株主総会)	普通株式	102,333	40	平成31年3月31日	令和元年6月26日

4.当事業年度の末日後に行う剰余金の配当に関する事項

令和2年6月25日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

決議	株式の種類	配当の原 資	配当金 の総額 (千円)	1株当 たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
令和2年6月25日 (定時株主総会)	普通株式	利益剰余金	101,600	40	令和2年3月31日	令和2年6月26日

5.新株予約権

該当事項はありません。

(税効果会計に関する注記)

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産	
未払事業税	28,462 千円
未払事業所税	50,612 千円
賞与引当金	21,383 千円
減損損失	3,831,012 千円
退職給付引当金	94,519 千円
長期前払費用	361,209 千円
資産除去債務	381,617 千円
減価償却超過額	531,730 千円
その他	<u>30,834 千円</u>
繰延税金資産小計	5,331,383 千円
評価性引当額	<u>△1,906,248 千円</u>
繰延税金資産合計	3,425,134 千円
繰延税金負債	
固定資産圧縮積立金	6,063,741 千円
その他	<u>258,480 千円</u>
繰延税金負債合計	6,322,221 千円
繰延税金負債の純額	<u>2,897,087 千円</u>

(リースにより使用する固定資産に関する注記)

貸借対照表に計上した固定資産のほか、事務機器等の一部については所有権移転外ファイナンス・リース契約によっております。

(金融商品に関する注記)

1.金融商品の状況に関する事項

当社の資金運用の内容は、自己資金による短期的な預金等であります。

営業未収金は、顧客の信用リスクに晒されておりますが、取引先ごとの期日管理及び残高管理を行い、リスクの低減を図っております。

預け金は、親会社が行うグループファイナンスの運営のために預入れているものであります。

差入保証金及び敷金は、主として土地の定期賃借に伴うものであります。

営業債務である未払金は、そのほとんどが1年以内の支払期日です。

長期借入金は設備投資に係る資金調達であります。

2.金融商品の時価等に関する事項

令和2年3月31日(当期の決算日)における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。(注2)

(単位：千円)

	貸借対照表計上額(*1)	時価(*1)	差額
(1) 現金及び預金	16,317,989	16,317,989	—
(2) 営業未収金	2,727,072	2,727,072	—
(3) 預け金	2,100,000	2,100,000	—
(4) 未収消費税等	186,659	186,659	—
(5) 差入保証金及び敷金	242,213	244,204	1,990
(6) 未払金	(3,967,976)	(3,967,976)	—
(7) 未払法人税等	(181,000)	(181,000)	—
(8) 預り金	(7,627)	(7,627)	—
(9) 長期借入金(*2)	(2,075,939)	(2,075,939)	—

(\*1) 負債に計上されているものについては、( )で示しております。

(\*2) 長期借入金は1年以内返済予定の長期借入金を含めて記載しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法

(1)現金及び預金、(2)営業未収金、(3)預け金、(4)未収消費税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5)差入保証金及び敷金は契約に基づく返還時までの年数により、現在価値に割引いて算定しております。なお、短期間で返還されるものについては、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(6)未払金、(7)未払法人税等、(8)預り金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(9)長期借入金の変動金利によるもので、短期間で市場金利を反映することから、時価は帳簿価額と近似していると考えられるため、当該帳簿価額によっております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

区分	貸借対照表計上額(千円)
① 非上場株式 ※1	200,177
② 預り保証金及び敷金 ※2	4,309,258

※1 非上場株式は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、時価開示の対象としておりません。

※2 賃貸物件における賃借人から預託されている預り保証金及び敷金は、市場価格がなく、かつ、賃借人の入居から退去までの実質的な預託期間を算定することは困難であることから、キャッシュ・フローを合理的に見積もることが極めて困難と認められるため、時価開示の対象としておりません。

(賃貸等不動産に関する注記)

1.賃貸等不動産の状況に関する事項

当社では、東京都江東区において、オフィス・ホテル・レストラン・会議室・ホール等を用途とした賃貸ビル(土地を含む。)を有しております。

## 2. 賃貸不動産の時価等に関する事項

(単位：千円)

貸借対照表計上額	時価
48,619,896	62,090,000

(注1)貸借対照表計上額は、取得価額から減価償却累計額を控除した金額であります。

(注2)当期末の時価は、主として外部の不動産鑑定士による不動産鑑定評価書に基づく金額(不動産鑑定時からの調整を含む。)であります。

## (関連当事者との取引に関する注記)

種類	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	取引条件及び取引条件の決定方針等	科目	期末残高(千円)
親会社	㈱東京臨海ホールディングス	被所有 直接 75.80%	役員 の 兼任	資金の預入及び利息の受取	— 2,318	運営規定に定める 同上	預け金 その他の流動資産	2,100,000 2,318
				親会社の子会社	東京臨海熱供給㈱	—	なし	熱使用料の支払
主要株主	東京都	被所有 直接 0.00% 間接 75.80%	親会社 の 主要 株主 役員 の 兼任	利用料の納付	1,397,104	貸付契約及び賃貸借契約に定める	未払金	703,880
				利用料の納付	633,035	運営管理に関する協定に定める	未払金	251,642
				土地賃借に係る保証金	17,045	定期賃貸借契約に定める	差入保証金	235,817
				土地賃借料の支払	330,932	同上	未払金	51,206
				利用料の受入	4,038,857	利用に係る協定に定める	営業未収金	2,219,788

(注) 取引金額には消費税等は含まれておりません。期末残高には消費税等が含まれております。

## (1株当たり情報に関する注記)

1.1株当たり純資産額	25,532円71銭
2.1株当たり当期純利益	724円00銭

## (資産除去債務に関する注記)

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

## (1)当該資産除去債務の概要

当社は土地又は建物所有者との間で不動産賃貸借契約を締結しており、賃貸借期間終了時に原状回復する義務を有しているため、契約及び法令上の義務に關して資産除去債務を計上しております。

(2)当該資産除去債務の金額の算定方法

資産除去債務の見積りにあたり、使用見込期間は 10 年から 41 年、割引率は 0.088%から 2.184%を採用しております。

(3)当事業年度における当該資産除去債務の総額の増減

期首残高	1,244,722 千円
有形固定資産の取得に伴う増加額	－ 千円
有形固定資産の除却に伴う減少額	39 千円
時の経過による調整額	1,618 千円
期末残高	1,246,301 千円

(重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。